

省エネ・節電実行計画 [H27年度 冬季] の結果報告

(実施期間：12月1日から3月31日)

◇エネルギー消費原単位削減目標 【前年度比 冬季実績の1%削減】

平成26年度実績 平成27年度実績

- ① 東山団地 17.39 ㏲/㎡ → 15.98 ㏲/㎡ **8.1%削減** 目標達成
- ② 鶴舞団地 23.20 ㏲/㎡ → 22.68 ㏲/㎡ **2.2%削減** 目標達成
- ③ 大幸団地 7.57 ㏲/㎡ → 6.70 ㏲/㎡ **11.5%削減** 目標達成

※ 東山団地は、ITbM、NIC、創薬科学研究館、アジア法交流館及び情報基盤センター（スパコン増設分）の使用量は対象外とする（以下同様）

⇒各団地の冬季月別エネルギー消費原単位の推移は右図を参照

◇ベース電力削減目標 【東山・大幸：前年度比 冬季実績の1.0%削減】 【鶴舞：前年度比 冬季実績の0.3%削減】

平成26年度実績 平成27年度実績

- ① 東山団地 7,575 kW(3.9℃) → 7,038 kW(5.1℃) **7.1%削減** 目標達成
- ② 鶴舞団地 3,630 kW(4.4℃) → 3,616 kW(5.7℃) **0.4%削減** 目標達成
- ③ 大幸団地 187 kW(3.9℃) → 180 kW(5.1℃) **3.5%削減** 目標達成

※ 鶴舞団地は、病院分を除いた目標設定とする。（病院：医学部＝約2：1）
評価時刻は、東山団地及び大幸団地は3時、鶴舞団地は5時とする
()内の温度は、冬季期間中の評価時刻における平均気温を示す

◇主要5団地における冬季エネルギー消費原単位について【前年度比】

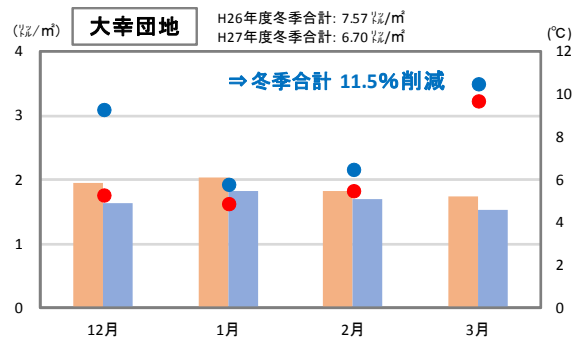
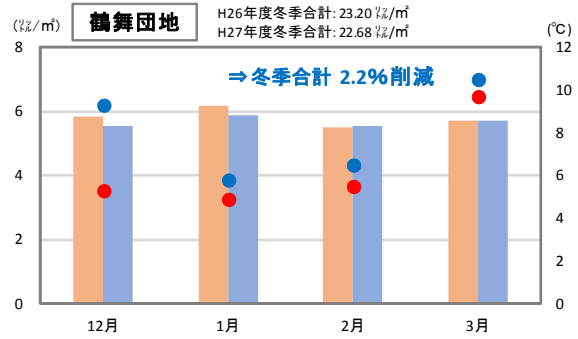
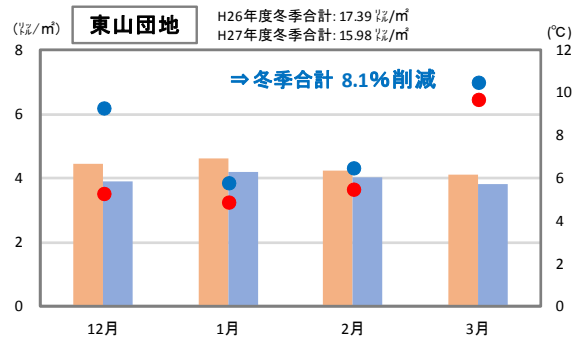
主要5団地冬季実績 18.37 ㏲/㎡ → 17.27 ㏲/㎡ **6.0%削減**

※ 東山、鶴舞、大幸、東郷及び豊川団地の合算値にて算出

◇冬季実績に関する考察

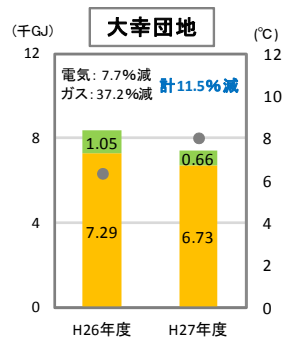
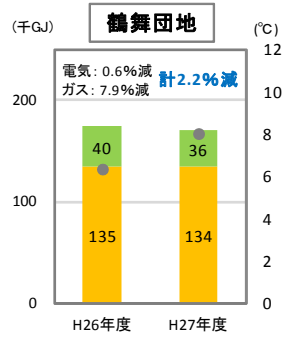
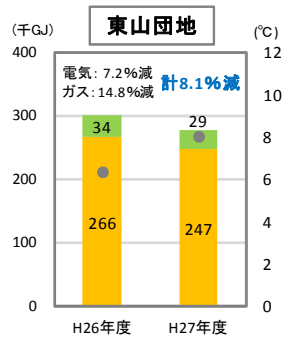
- ・平成27年度は昨年度より平均気温が高かったため、原単位、ベース電力ともに削減傾向となった。（特に12月は昨年度より約4℃高かった）
- ・鶴舞団地も目標は達成できているが、病院運用の関係上、大きな削減は難しく、他団地に比べると少ない削減割合となった。
- ・主要5団地における原単位は、約6%と大きな削減量となった。

■ H26年度原単位 ■ H27年度原単位
● H26年度平均気温 ● H27年度平均気温



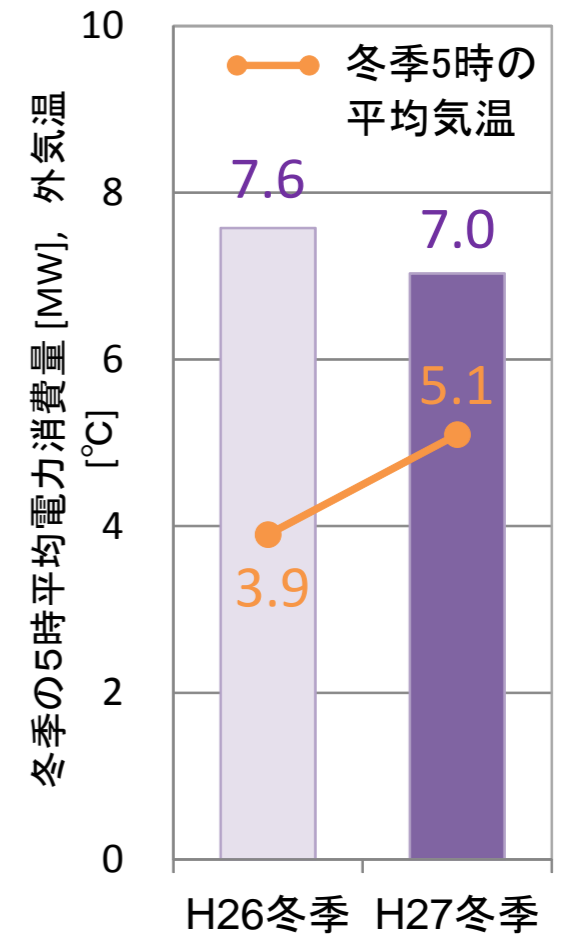
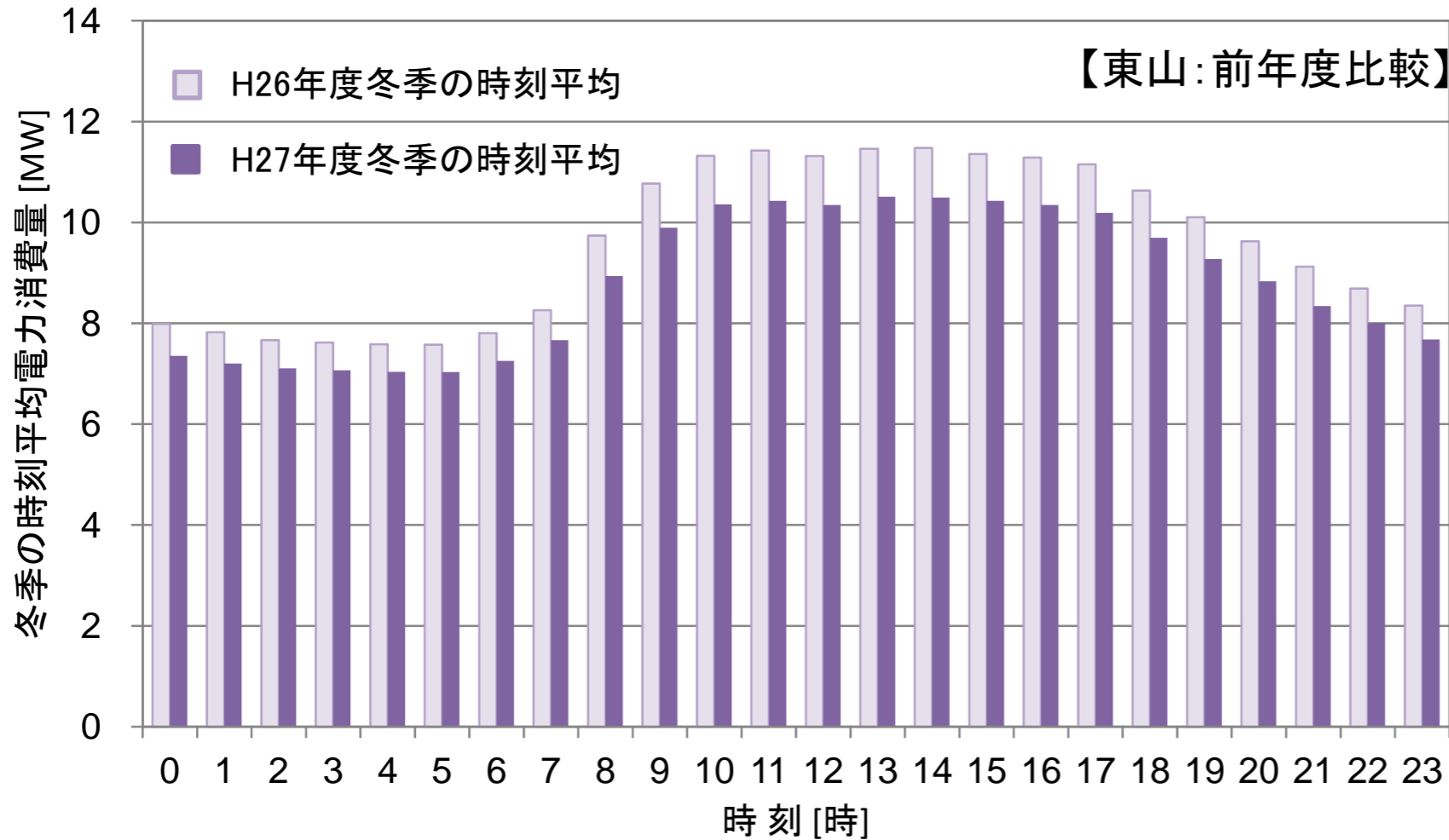
月別エネルギー消費原単位

■ 電力 ■ 都市ガス ● 平均気温



一次エネルギー消費量

「ベース電力削減対策week」の成果確認



東山団地ベース電力実績比較

ベース電力評価時刻

	0:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
平成26年度 冬季平均	7,985	7,822	7,667	7,618	7,583	7,575	7,805	8,259	9,737	10,772	11,320	11,425	11,318	11,461	11,476	11,355	11,286	11,154	10,630	10,104	9,626	9,121	8,689	8,349
平成27年度 冬季平均	7,352	7,200	7,105	7,067	7,036	7,031	7,256	7,664	8,938	9,895	10,358	10,430	10,344	10,512	10,492	10,427	10,344	10,189	9,696	9,274	8,831	8,342	8,003	7,680
増減率(対H26年度)	-7.9%	-8.0%	-7.3%	-7.2%	-7.2%	-7.2%	-7.0%	-7.2%	-8.2%	-8.1%	-8.5%	-8.7%	-8.6%	-8.3%	-8.6%	-8.2%	-8.3%	-8.7%	-8.8%	-8.2%	-8.3%	-8.5%	-7.9%	-8.0%

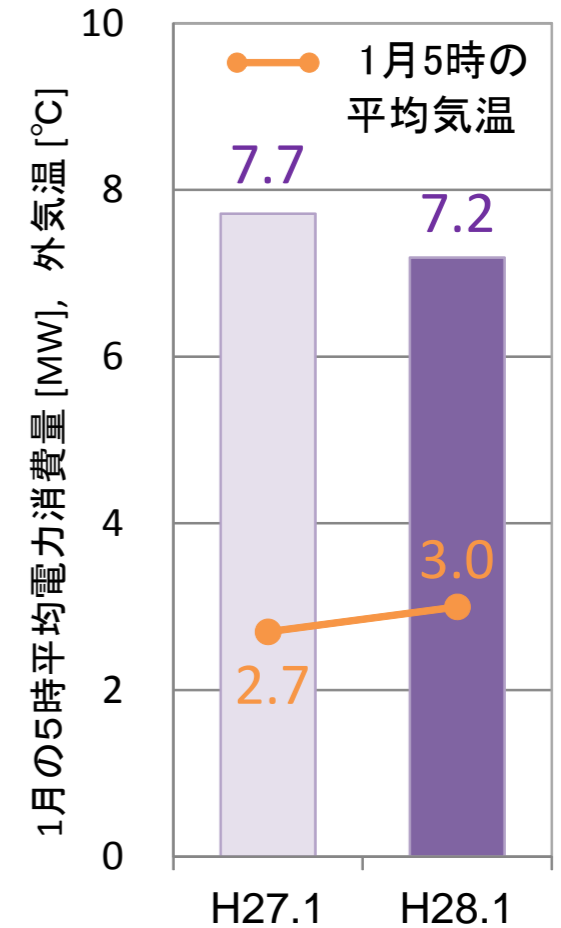
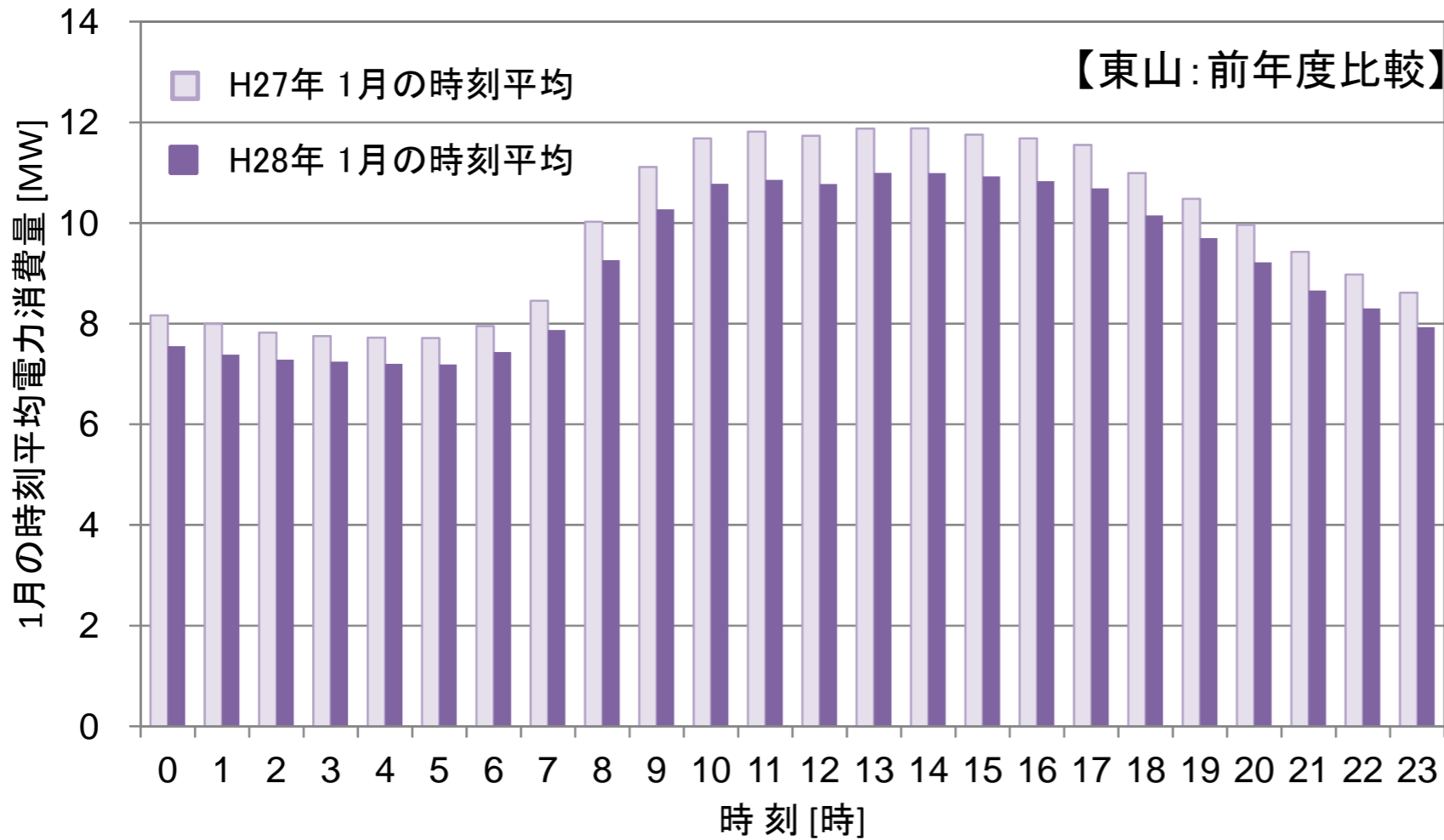
※今年度新規に稼働開始した建物とスパコン増設分は除いて評価している

ベース電力評価時刻(5時)の平均気温

	12月	1月	2月	3月	平均
平成26年度	3.4	2.7	3.0	6.5	3.9
平成27年度	7.1	3.0	3.7	6.6	5.1
気温差(対H26年度)	3.7	0.3	0.7	0.1	1.2

- ・東山団地の平成27年度ベース電力は、前年度に比べ冬季(12月～3月)平均で7%～8%の削減量であった。
- ・12月の第2週目を「ベース電力削減対策week」として、ベース電力削減のための取り組みを行ったことで、冬季全体のベース電力削減に貢献できたものとする。

冬季期間中において、前年度との気温差が最も少ない1月のベース電力比較 ⇒ 評価時刻では約0.5MWの削減効果



「ベース電力削減week」における主な取り組み内容

＜ベース電力対策＞

- ・使用していない家電・パソコンのプラグを抜く
- ・冷蔵庫の共用化による稼働台数削減
- ・冷蔵庫の設定温度の緩和
- ・実験用フリーザを省電力型に更新(小型化)
- ・サーバ室の空調設定温度の緩和と外気冷房
- ・使用のない・使用頻度の低い実験装置の停止

＜昼間電力対策＞

- ・ウォームビスによる空調設定温度緩和の徹底
- ・パソコンの省エネ設定・ディスプレイの輝度調整
- ・照明器具の間引き・外光利用による窓側消灯

＜夜間電力対策＞

- ・帰宅時の消灯及び空調等の停止徹底
- ・スイッチ付テーブルタップによる電源管理
- ・ドラフトチャンバーの夜間運転の停止